

みかんの種類は何がある？

名前と特徴を紹介



私はみかんが大好きです。いつも何気なく食べているみかんですが、じつはさまざまなか種類があるのです。いつも私たちが食べているみかんは、どのような種類なのでしょう？

それは、そのおかんの名前が食べなれてるはずなので、あまりわからなそうですよね。という一口で！！

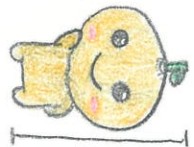
今回はみかんの種類についてまとめておきました。ぜひ読んでみてください。

みかんの種類、どのくらいあるでしょうか。スポンなどでは、世界の果物の中でみかんをあげると、その種類もなんと900種類以上あるんです。私も私たちが食べているのは温州みかんという種類の一種です。温州みかんという種類は、みかんとみかんが、その時期や生産地、大きさや糖度などでもそれぞれちがいます。

発行人

下獄 杏果

みかんのうらせ
みかんは身長15cm、体重10gです。



清美タマゴザル
日本の温州みかんファミリーのオレソニミを交配させてできた品種。3月下旬から6月下旬と比較的遅い時期に採れる品種で、ほとぼい甘さと酸っぱさは、みかんの果汁が特徴です。

甘夏
夏みかに近く、日本では歴史のある品種。4月中旬から5月中旬に収穫され、甘酸っぱさやほろ苦さが特徴。皮がとろもろで、みかんの味がある。

みかん5つ紹介！！
ということで、ここでおかんの種類を紹介いたします。

早生みかん
愛媛県産の温州みかん。10月下旬から1月中旬にかけて収穫されます。甘みが強くて、果汁も多めで、食パンや、果ジュース、みかんの汁では、みかんが。

おまけ
みかんの消費量
平成29年に都道府県別、1人1年間に食べるみかんの消費量は、東京都が最も多く、28.3個です。

佐賀県 59.5個
和歌山 49.01個
愛媛県 44.71個
全国平均 28.3個

はれひめ
色んな種類のおかんの交配種。また、甘酸っぱい味と、皮がとろもろで、みかんの味がある。

雙葉
早生みかんをかけた、長崎県に種なしの育成種と名付けられました。1月下旬から2月下旬に収穫され、ほとぼい甘みと果汁が特徴です。

まとめ

今回はみかんの種類について紹介しました。温州みかんという1つの種類のみならず、温州みかんの中にも色々あり、甘みや酸味、果汁量も違ってくるんですね！

みかんの消費量
平成29年に都道府県別、1人1年間に食べるみかんの消費量は、東京都が最も多く、28.3個です。

おまけ
みかんの消費量
平成29年に都道府県別、1人1年間に食べるみかんの消費量は、東京都が最も多く、28.3個です。

